

ていますので、それぞれに表示並びに連携の表記があります。

(小松議長) 南区地域学ですね。分かりました。委員の皆さんから何かお聞きしたいことなどはありませんか。

(野本委員) 月潟のミュージックメイツは、どういう形で指導をされているのですか。

(事務局) もともと月潟小学校にマーチングバンドがあり、そのときから指導していた先生に引き続き指導してもらっています。

(月潟地区公民館長) NPO法人音楽ネットワークの、小林先生がずっと月潟村時代から月潟小学校にかかわっていて、小学校でマーチングバンド(ミュージックメイツ)を指導していました。公民館はその後に「おんがくっ子塾」というものを別に立ち上げており、その二つを合体し、引き続き指導者についてはNPO法人音楽ネットワークの小林先生にお願いしています。

(野本委員) 指導する曜日・時間は土日でしょうか。

(月潟地区公民館長) 月潟まつりが6月、芸能祭が11月にありますので、6月は月潟まつりに合わせた練習、11月は芸能祭に向けての練習、3月には月潟おはなしの会とコラボして、保護者を招いた発表を行います。練習は放課後学年ごとに年10回程度行っています。

(丸山(恵)委員) 先日、南区健康福祉課の方からも、ゆりかご学級とBPが合体すると聞きました。ゆりかご学級は、母子分離なので、赤ちゃんのことを気にすることなく自分のペースでお話できることがメリットだと感じていますが、BPに参加したお母さんの中には、自分自身がとても人見知りなので赤ちゃんに参加できてよかったし、心強かったという方もいました。せっかく合体するのであれば、親子一緒にの回、母子分離の回もどちらもあってもいいと思います。また、母子分離の回にお菓子を食べたり、温かい飲物を飲みながらリラックスしておしゃべりできるものがあるのもいいのかなと思います。

(事務局) 現在、健康福祉課とは、母子分離の回と母子同一の回を混ぜたような形での開催を検討しています。オリエンテーションは、ゆりかご学級の内容をベースにしてBPの要素を取り入れる形になりますが、前半はオリエンテーション、後半は母子同一の強みを生かした、親子の手遊びなど、ふれあい遊びを考えています。

(丸山(恵)委員) 南区の児童館では、アレルギーの関係で飲食禁止のため、公民館で飲食も入れたりして開催できればいいと思います。

(事務局) ご意見を参考にさせていただきます。

(上杉委員) 1ページの1-6番の事業の連携先に白根高校とあるのは、白根高校生が寄贈してくれたイルミネーションなどを活用しているからでしょうか。また、月潟地区公民館の凧の事業は、縮小で評価にCがついた事業が新規事業となっている理由は何ですか。

(月潟地区公民館長) 子ども大凧合戦ですが、月潟地区には凧の歴史がなく、南区になったということで平成19年から参加したと聞いています。自分たちがあの大きい凧を作って合戦を行うには凧に精通した指導者がいないと非常に危険なため、強制的に参加してもらうことはできません。大凧合戦に参加しないから、大凧という伝統文化に触れることもなしにはできないだろうと考え、和凧づくりを通して作る楽しさや、揚げる楽しさの土台をつくり、いずれは子ども大凧合戦に再び参加できるように新規で立ち上げさせていただきました。

- (事務局) 1 ページ 1 - 6 の「茨曾根どんど焼き」の、連携先に白根高校と記載のある点ですが、今年度の連携からは外れていましたので削除させていただきます。
- (上杉委員) 5 - 1 「茨曾根地区芸術祭」の連携先も白根高校を削除でよろしいでしょうか。
- (事務局) 記載誤りですので、削除をお願いします。
- (野本委員) 私も南区地域学に生で参加していますが、オンラインで受講している味方地区と月潟地区の方の様子はどうかお聞きします。
- (白根地区公民館長) 月潟会場はオンラインの申込者がいませんでしたが、当日に飛び込みでも参加できるよう毎回、サテライト会場として準備していました。
- (味方地区公民館長) 味方会場は受講者が 1 名でしたが、じっくり見ていました。ただ機器の関係で、会場での質疑の音声が聞き取りにくいなどの課題はあるように感じました。
- (野本委員) とてもいい講座で、できるだけ大勢の人から参加してもらいたいと思います。
- (白根地区公民館長) 機器についてもマイクなどを手配し、もう少し環境がよくなるように改善していきます。
- (議長) 全体を通して、本日ご発言いただいている方から一言ずつご感想などいただければと思います。
- (丸山(孝)委員) 味方地区公民館のかたづけ講座のチラシが月潟地区にも回覧版で回ってきたので、申し込みをして受講しました。とてもよくて参考になりました。
- (味方地区公民館長) いきいきセミナーとして 7 月はかたづけ講座というテーマでやりましたし、また 2 月にもいきいきセミナーをやる予定なのですが、テーマは検討中です。ぜひご意見をいただければと思います。
- (栗田委員) 白根高校生が地域課題の解決方法を考える取組みがありますが、とてもいいことだといつも思っていたので、ずっと続いていったらいいと思っています。
- (諸原委員) ご存じのとおり白根大凧合戦は三百有余年の歴史があります。それなりの価値観を皆さん持っておられ、感動を呼び起こしてくれる事業というのは恐らく白根大凧合戦が唯一なのではないかとも考えます。大勢の中ですので、必ず反対という人はいますが、子ども大凧合戦は南区の大会ですので味方地区、月潟地区も足並みを揃えたいなと思っています。月潟地区には、角兵衛獅子という非常に大きな伝統芸能がありますし、地域性や、住民性があると思います。しかし、白根大凧合戦に勝る事業はないと私は思いますので、皆さんから大勢で参加していただいて、それぞれの価値観を共有してもらうことが一番大きなことではないかと思いました。
- (浅間委員) 最近、味方地区の曾我量深さんと平澤興さんの講演会があり、そのときは曾我量深さんの内容でした。地域の凧合戦とかいろいろな文化があるでしょうけれども、こういった地域の偉人のことも、皆さん頭に入れて、いろいろなところで PR していただきたいと思います。
- (今井委員) 小学生であるとか白根高校の学生を巻き込んでこういった活動をしているということで、とてもいいことだと思っています。いま中学校は令和 8 年度に土曜日、日曜日の部活動が地域に移行します。その後、平日についても地域移行ということを言われていますので、地域の公民館の活動が、また子どもたちの放課後とうまくリンクしていけるといいと思います。例えば、陸上や野球であるとか、そういった種目ではないところに興味を持っている生徒もたくさんいて、勝つとか技術をつけるということではなくて、友

だちと何かかかわりたいというニーズも非常に多いのです。ですので、何とかいい形で公民館の活動や地域の活動とうまくリンクしていけると、南区の中の活動で地域が子どもたちを支えていく、育てていくことにつながると思います。

(井浦委員) 子ども大凧合戦が、かつてと同じように今年度、昨年度続けて開催されて、本当によかったなと思います。中断していた3年間で学校の子ども大凧合戦を知らない職員にとってはハードルが高かったということなので、今後は何があっても、どうしたらできるかの方向で検討して、白根の大事な伝統として子どもたちに伝えていかなければいけないなと痛感しています。また、そういった継続を図っていくためにも、学校としても、ぜひ協力したいと思います。2点目は、8月に子ども体験チャレンジということで、数々の体験できる機会をいただいて感謝申し上げます。ただ学校でのルールとマナーは、地域に出たとしても同じということ、今回夏休みに入る前はかなり徹底して指導しました。休みに入ると学校ではないため、子どもたちは気が緩むというか、例えば、行き帰りの自転車の乗り方、あるいは飲み食い等のルールも感覚的に甘くなる可能性が非常に高いなと3年目に感じていました。子どもたちの姿を見て、気になること、よい部分ももちろんなのですが、少し気になることがあれば、ぜひ学校に情報をいただければ、即対応できるような形を取っていきたいと思います。

(議長) ありがとうございます。議題はすべて終了し、皆様からもご意見や感想をいただきました。これをもちまして議事を終了します。

5 その他（連絡事項等）

- ・公民館運営審議会の全市統一について

(白根地区公民館長) 各区の公民館運営審議会を一つにすることについて、スケジュールや検討内容について説明。

(議長) 各地域の公民館の活動協力員から意見を聞く場面もあるということですが、活動協力員の規模縮小などの予定はありますか。

(白根地区公民館長) 協力員の規模については、極力現状を維持すると聞いています。

(議長) 今まで、各館の運営審議会に出た意見や取り組み内容など委員の皆さんが全体的に集まって意見交換する場所はなかったの、それはあったほうが良いと思います。地域差や温度差もあると思いますが、この地域ではこのようなことをやっているし、こういうものもあるのだという発見とか意見交換ができる場があるのはいいことかと、私は思います。

(浅間委員) 中央にそういう形のものでできると、もう少し実務的な、内部の意思統一とか連絡調整などを行うもの。そういうようなことも必要なのだろうと思います。

(事務局) ほかにご意見はありませんか。（その他意見なし）

6 閉会

(事務局) 以上で、本日の新潟市白根地区公民館運営審議会を終了いたします。